

一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会

# SAITAMA BASKETBALL DEVELOPMENT LEAGUE

通称：SBDL：埼玉県バスケットボール育成リーグ

～ リーグ文化醸成へ向けた取り組み ～

2019.2.16 2019「U15C事業（DL,DC）」説明会

於 鴻巣市立吹上中学校 18:00～



# 本日の次第

- ① DL事業説明および  
U15 カテゴリー一部会事業説明
- ② DC事業説明
- ③ 質疑応答

動画



# リーグ戦実施に向けた準備等の経緯

1. リーグ戦の目的
2. リーグ化の意義
3. 年間計画
4. リーグの構造
5. 実際の運営
6. リーグ戦レギュレーション
7. U15 カテゴリー部会の事業説明

# リーグ戦実施に向けた準備等の経緯

1. リーグ戦の目的
2. リーグ化の意義
3. 年間計画
4. リーグの構造
5. 実際の運営
6. リーグ戦レギュレーション
7. U15 カテゴリー部会の事業説明



## おおまかな経緯

**2017.12月：U15C 準備会発足、年間スケジュール原案作成**

**2018. 1月：U15C 部会組織表作成、役員選出、**

**既存大会とリーグ戦の関わり方について確認**

**2018. 2月：JBAで示されたレギュレーションの共通理解**

**リーグ戦、入替戦、U15 選手権予選の日程調整**

**2018. 3月：役員名簿完成、各セクションの仕事確認**

**2018. 4月：第1回U15C 部会において県内へ情報伝達**

**2018. 5月：参加費、オフシーズン検討、スケジュール見直し**

**2018. 6月：進捗状況と課題の整理**

# 1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯

## おおまかな経緯

**2018. 7月：課題確認**

**冊子作成、運営費の整理、スケジュール再考**

**登録規定確認、リーグ戦説明会日程、連絡体制**

**2018. 8月：冊子内容確認（組織表、要綱、保険、年間計画**

**部署毎の実施運営マニュアル、予算・決算）**

**2018. 9月：スケジュール再考**

**（グループ分け、グループ発表、U 1 5 選手**

**権申込、夏場の試合避ける、など、、、）**

**2018.10月：登録規定とエントリー規定（ユニット）**

**部署毎の冊子作成事項と提出期限確認**

- Prefectural League → 県リーグ(略称：PL) (最大3階層)
- Regional League → 地区リーグ(略称：RL) (最大3階層)
- Witer Round → 14歳以下のリーグ戦(略称：WR)
- Spring Madness → 県リーグ入れ替え戦および  
上位チームによるチャンピオンシップ(略称：SM)
- Autumn Round → 15歳以下のリーグ戦(略称：AR)
- Winter Madness → U15選手権県予選(略称：WM)
- チーム → JBAにチーム登録した組織の単位
- ユニット → リーグ戦にエントリーする組織の単位



**1. リーグ戦の目的**

2. リーグ化の意義

3. 年間計画

4. リーグの構造

5. 実際の運営

6. リーグ戦レギュレーション

7. U15 カテゴリー部会の事業説明



**実力が拮抗したゲームの設定を通して、  
登録したすべての選手の長期的な育成を図ること。**

# 1 リーグ戦の目的

## ■ 事業概要

1. 目的達成のため、都道府県協会（PBA）の独自性を活かしながら計画・実施する事業である。
2. リーグ戦実施が目的ではなく、リーグ戦文化を定着させることで、拮抗した試合を設定し、選手や指導者の育成を目指すものである。
3. 埼玉県U15C部会では、2020年度完全実施。

1. リーグ戦の目的
- 2. リーグ化の意義**
3. 年間計画
4. リーグの構造
5. 実際の運営
6. リーグ戦レギュレーション
7. U15 カテゴリー部会の事業説明



### U15カテゴリー部会設置の背景：課題と解決策

①中3のプレー環境整備

②クラブチームの環境整備

③Bユースの環境整備

④試合数の格差

⑤未登録チーム・未登録選手

⑥並列する複数の組織

競技会システムの見直し

⇨リーグ戦の推奨

⇨クラブチーム参加可能な大会の創設

⇨JBA主催単独チームによる全国大会  
(都道府県予選あり)の創設

育成方針、育成シ  
ステムに則った大  
会システムの検討

登録制度・体系の見直し

必要な体制、組織の構築

### ■ よりよい育成への変革

現行トーナメントの**育成年代へのデメリットの改善**



①リーグ化により選手として**経験の場の増加**  
補欠文化からの脱却→**普及・育成**

②リーグ化によりチームとして**拮抗した試合数の増加**  
適正競技レベルでの経験値増加→**育成**

**今回の改革の主軸 ↓ ↓ ↓ これは、絶対。**

**登録したすべての選手に経験の場を与えること。  
チームとして拮抗した試合を増やすこと。**

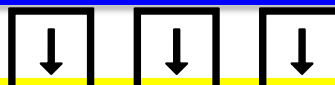
# ■ よりよい育成への変革

## 今回の改革の主軸

### 育成年代のすべての子どもたちのための変革

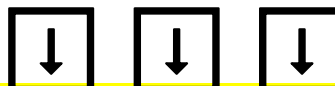
- ① すべての登録選手 → 経験の場の増加 → 補欠文化からの脱却
- ② すべてのチーム → より拮抗した試合 → 適正競技レベルでの経験値増加

つまり、



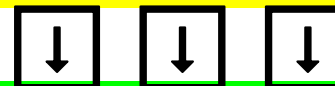
県内トップレベルの数チームや数人の選手のためだけに  
良い環境が整備されるようなリーグ化への変革ではない。

だからこそ、



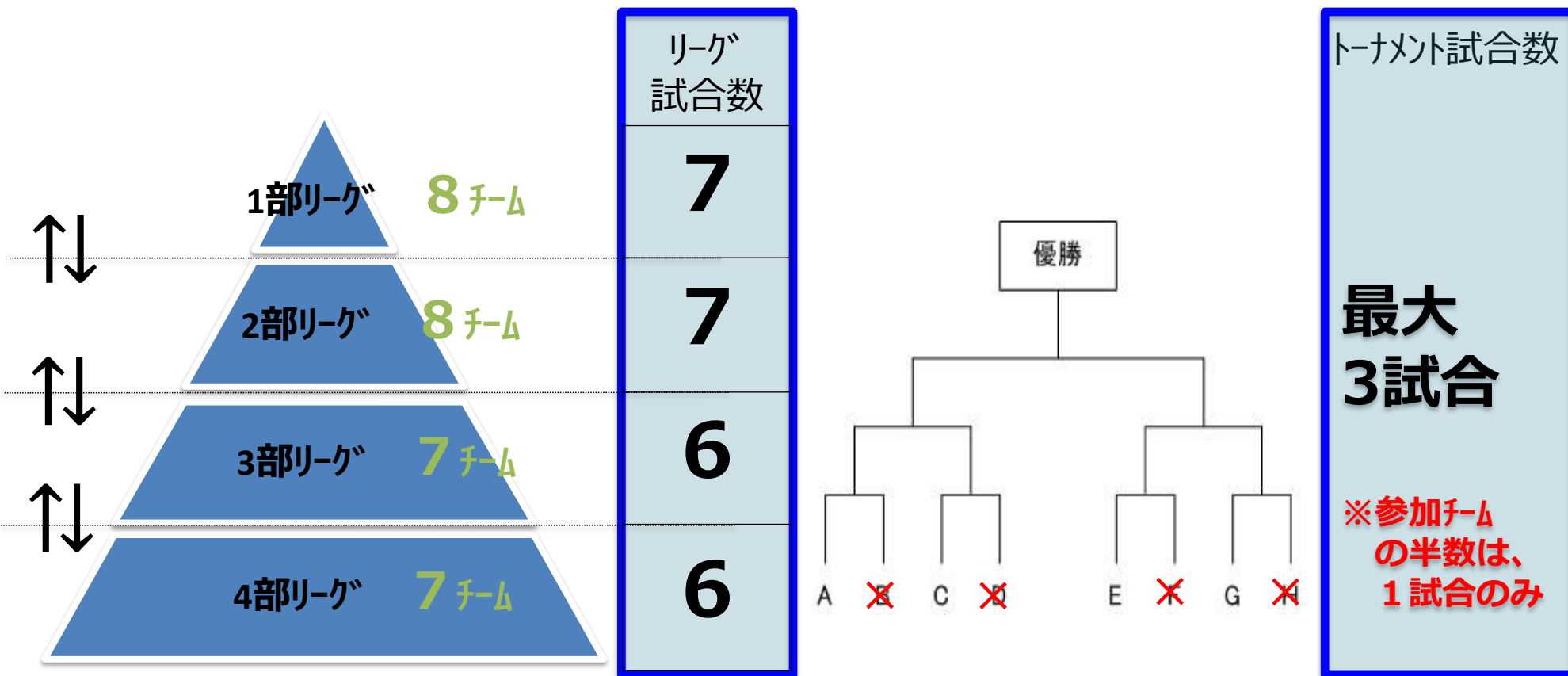
こどもたちを支える**我々大人の、多くの力が絶対に必要。**  
(一部の大人だけで運営すれば、一部の子たちしか恵まれない。)

埼玉県U-15を預かる我々は、



**すべての子どもたちを支えたい。**  
**だから、すべての大人で運営しましょう。**  
**子どもたちのために、力を貸してください。**

# 【普及】一定試合数確保によるプレー機会の創出



- 参加チームに対して一定試合数が確保される
- 適正競技レベルでの試合が増加することで拮抗した試合のなかで経験値増加が見込まれる



### 【試合数の変化イメージ】

#### ■ 年間試合数(トーナメントのみ)

(参考大会：2015バスケ)  
年間 4 大会設置

県内登録チーム数 171

全大会優勝した場合	20 試合
// ベスト 8 の場合	12 試合
// 初戦敗退の場合	3 試合

#### ■ 年間試合数(リーグ・トーナメント並行実施)

(参考大会:2015サッカー)  
年間 4 大会設置  
+

リーグ大会(9ヶ月)設置

県内登録チーム数 171

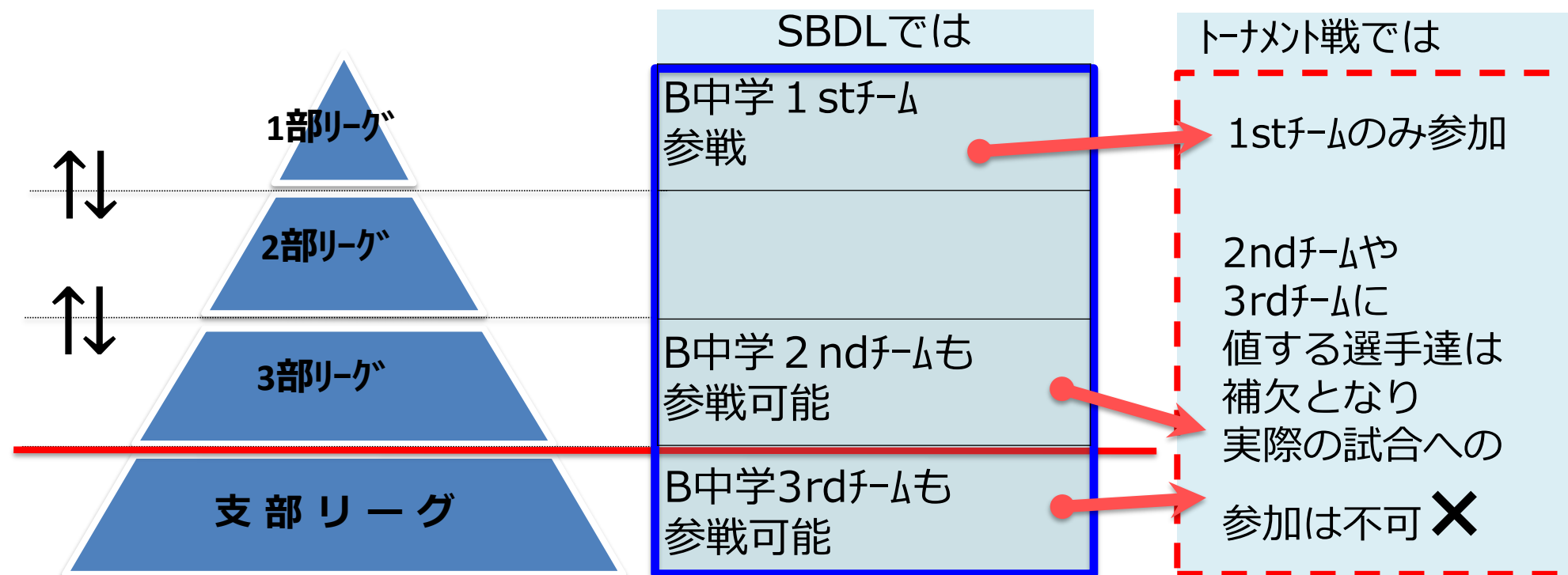
全大会優勝した場合	36 試合
// ベスト 8 の場合	31 試合
// 初戦敗退の場合	22 試合

- リーグ 試合数が確保される = 試合のある日常

# 【普及】補欠をなくすプレー機会の創出

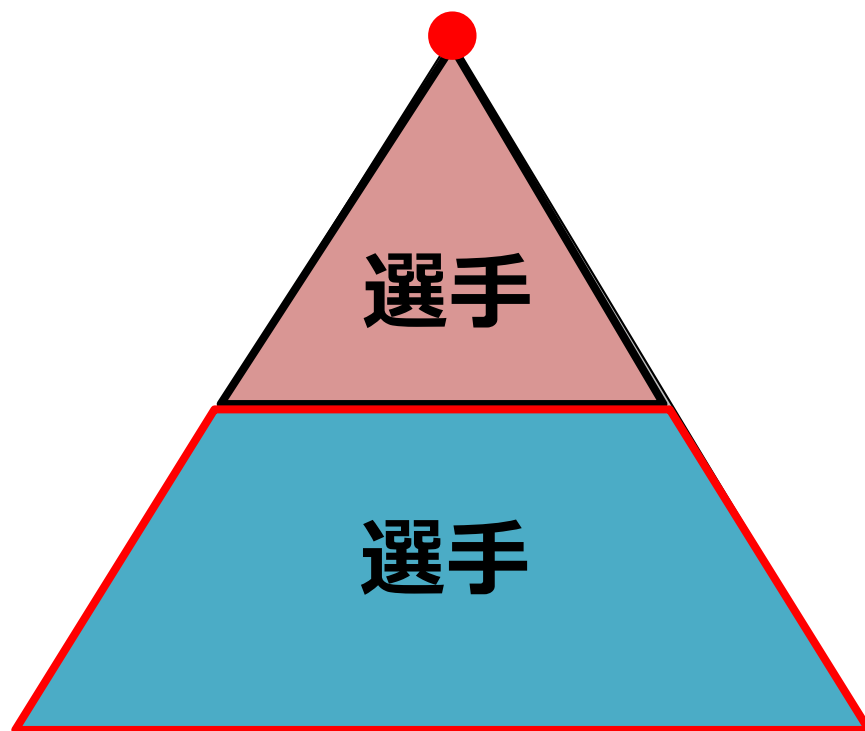
## 【複数チームエントリーのイメージ】

◆リーグ戦にB中学30人を3チームでエントリーした場合



- 複数チームエントリーの場合、**2チーム目以降の登録人数は、7名以上とする**
- 一人の選手が複数のチームに参加することは、**当然認めない。**

# 【育成】選手ピラミッドを効率化する



選手(競技者)ピラミッド

### トーナメント文化

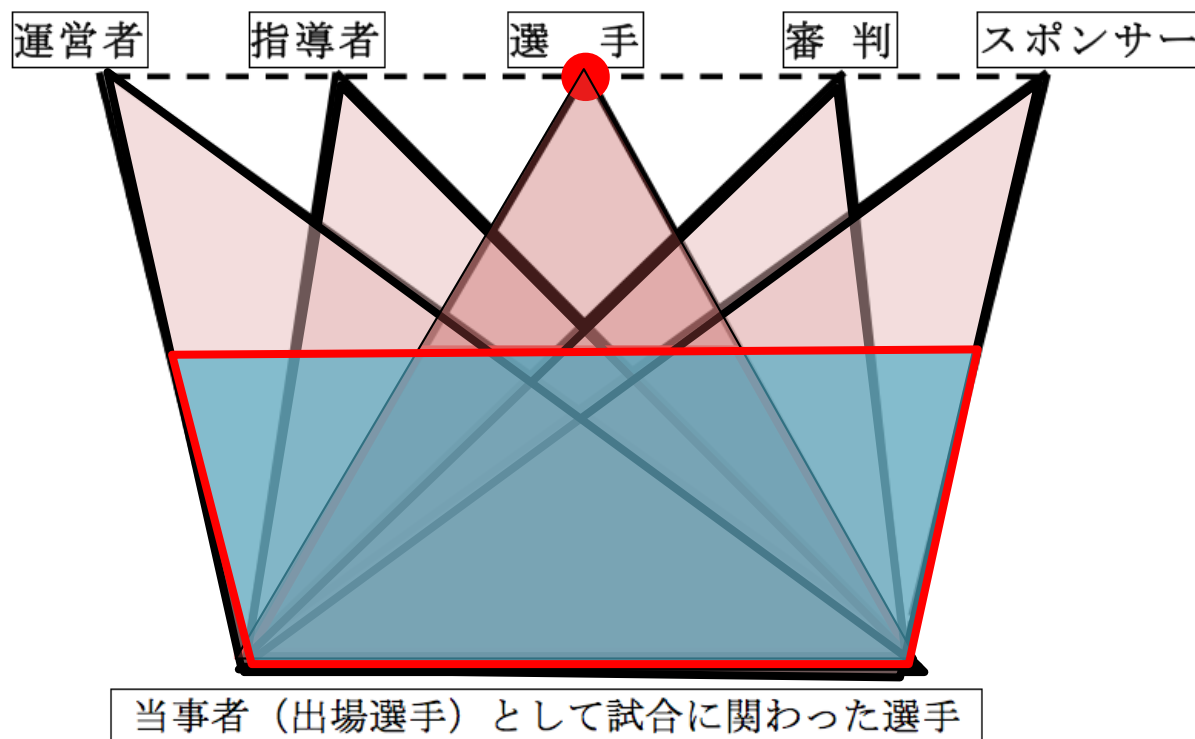
ピラミッドの上層のみ高める  
下層は補欠となる

### リーグ文化

ピラミッド下層にも競争機会を作る  
下層に出場選手として機会を作る

- 上層のみを高めるのではなく、これまで陽の当たりにくかった**すべての選手を大切に育てていく**ということ。

# 【普及】バスファミリーピラミッドの数を増やす



出場選手としての  
競技との関わりの増加



多様な競技との関わり方  
バスファミリーの増加



持続可能な競技発展へ



- スポーツへの多様なかかわり方が、競技を発展させるだけでなく、その人自身の人生を豊かにし、絆の深い社会を構築していくことになる。

### ■リーグ化に伴う課題

リーグ化により以下の様な課題が想定される。

#### ①会場確保

試合数の増加による会場の確保

#### ②審判確保

試合数の増加による審判の確保

#### ③日程確保

既存トーナメントと並行するリーグ 日程の確保と調整

### ■ リーグ戦のスタートへ向けて

適切な**普及**は、

**バスケットボールファミリーを増やし、  
未来の日本バスをより良く作り替えていきます**

適切な**育成**は、

**未来の強い日本代表作りへ繋がっていきます**

リーグ化の実現には、各府県や都道府県それぞれの異なる実態から、47通りの課題があると考えられます。

- **課題と向き合いながら育成と普及の未来を作っていく作業は、私たちバスケットボールファミリーの絆を高めるチャンスとも考えられます。**

### ■ 事業概要

今回の事業を行うことにより、様々な場面での変化が起こる。

#### ① 試合数の増加      ② 1 団体 1 チームからの脱却

- 総当たりになるため**公式試合数は増加**する。
- 1 団体 1 チームという制限は設けず、技量や年齢に応じて複数のチームでの参加が可能なため、**これまで出場機会が少なかった選手にも、公式戦出場機会の増加が見込まれる。**

ただし、これらは新しい変化であり、既存の考え方だけでは適切な運営は難しい。**これから先、より良い環境を求めその機会を増やすということは、その分、支える指導者や役員の協力が必要。**

これまでも多くの方々が様々な方面から埼玉県のバスケットボールの向上にご尽力いただきました。**今回の事業は、選手の育成を第一義とする一方で、埼玉県のバスケットボールが益々発展することを目指すものでもあります。**

1. リーグ戦の目的
2. リーグ化の意義
- 3. 年間計画**
4. リーグの構造
5. 実際の運営
6. リーグ戦レギュレーション
7. U15 カテゴリー部会の事業説明





### 3 年間計画

月	Winter Round(U-14)	Autumn Round (U-15)	その他
1			10(木)次年度事業説明会2/16についてmail配信とHP掲載 (資料は各自ダウンロードして準備)
2			6(水)19:00～ U15C部会 … (14:00～中体連常委会) ・事業説明会打ち合わせ 16(土)18:00～ 次年度U15C(DL,DC)事業計画説明会@吹上中 ・時：年間計画 (申込～移籍～試合～報告) ・人：組織概要、事務局役員 ・物：体育館、表彰、景品 ・金：参加費と使途、保険 ・代表者会議 日時・場所・資料mail配信とHP掲載
3			3月中旬～ 新年度JBA登録開始
4			～4/10 (中体連役員勤務地異動確認、名簿整理、WR結果集約) 10 SBAへ冊子原稿提出 (製本発注)
5	19(日)15:00～ 登録チーム代表者会議	19(日)15:00～ 登録チーム代表者会議@栄高校 ・JBA登録費の領収書確認、AR参加申込書提出 (ユニット毎) ・同意書 (写真、マルフアン、保険同意確認)、パンフレット購入希望申込書配布 ・運営マニュアル説明 (資料は各自ダウンロードして準備) → 各部署からの具体的運営について説明、データ配布	10 JBA登録終了 11登録チーム代表者にメール配信 ・5/19代表者会議について再連絡 ●体育祭が多い時期
6		5/22水～6/5水 ARユニットエントリー支払い期間 (TeamJBA,コンペニ支払い) 12(水)AR所属グループ編成会議 16(日)AR所属グループ編成発表	●中体連 総体 (地区予選)
7	15～31 WRユニットエントリー期間 (TeamJBA,コンペニ支払い)	※ グループ 役員：計画準備期間	25～31 JBA移籍期間 ●中体連 総体 (県大会)
8	第3(日) WR所属リーグ 決定戦要綱配布	第2(日) AR要綱提出(グループ内通知) 第3(土) 全地区AR要綱：県HP掲載 第3(日)グループ毎代表者会議実施 (パンフレット配布) ・AR参加確認書、参加料振込領収書、選手最終エントリーシート提出	
9	第3(日) WR所属リーグ 決定戦 (必要なケースのみ)	1 AR開始	●体育祭が多い時期
10	第2(日) 事務局：WRグループ編成発表	★県1,2部リーグ：27までにAR終了 (30 WM要綱配布)	
11	※ グループ 役員：計画準備期間	★県1,2部リーグ：2 AR結果報告締切 4,17,24 WM実施(参加申込前日) 30 JBA U15選手権申込締切	●中体連 新人 (県大会)
12	第2(日) WR要綱提出(グループ内通知) 第3(土) 全地区WR要綱：県HP掲載 第3(日)グループ毎代表者会議実施 WR参加確認書、参加料振込領収書、選手最終エントリーシート提出	◆県1,2部以外のリーグ：1 までにAR終了 ◆県1,2部以外のリーグ：7 AR結果報告締切	(JBA U15選手権本選)…2020以降はこの時期
1	4 WR開始		
2	↓		上旬 19:00～ U15C部会・事業説明会打ち合わせ… (14:00～中体連常委会) 15 (土) 18:00～ 次年度U15C(DL,DC)事業計画説明会@吹上中
3	20 WR終了 31 WR結果報告締切		3月中旬～ 新年度JBA登録開始 JBA U15選手権本選 (2019WMが目指すところ)

### 3 年間計画

- ・まず参加希望受付。希望と前年度成績を元に、リーグ振り分け。
- ・最大数を上回る場合のみ、所属リーグ決定戦。9月第1.2（日）
- ・1～3月U14WR。5月CM（入替戦）。（6月総体）
- ・7月総体県大会後に移籍期間。
- ・9/1～11/7U15県AR
- ・11/15～11/30WM予選

現14歳

現13歳

現12歳

4	5	6	7	8
期登録 4/1 5/10		U-14 所属リーグ決定戦 9月第1第2（日） 必要なケースのみ		期移籍 7/25 7/31
		学総地区	学総県大	全中

(2019～2020)

	9	10	11	12	1	2	3	4	入替戦	6	7	8
リーグ準備	Autumn Round (U-15) 9/1～11/7		★	WinterMadness 11/15～11/30				U-15 Challenge Match				
既存トーナメント	新人地区	新人地区	新人県大					期登録 4/1 5/10		U-14 所属リーグ決定戦 9月第1第2（日） 必要なケースのみ		期移籍 7/25 7/31
				県大会 9月第3（日・月） U-14 Rookie tournament		Winter Round(U-14) 1/4～3/20	U15選手権はプレのみ 3月に開催予定	プレ選手権		学総地区	学総県大	全中

(2020～2021)

	9	10	11	12	1	2	3	4	入替戦	6	7	8
リーグ準備	Autumn Round (U-15) 9/1～11/7		★	WinterMadness 11/15～11/30				U-15 Challenge Match				
既存トーナメント	新人地区	新人地区	新人県大					期登録 4/1 5/10		U-14 所属リーグ決定戦 9月第1第2（日） 必要なケースのみ		期移籍 7/25 7/31
				県大会 9月第3（日・月） U-14 Rookie tournament		Winter Round(U-14) 1/4～3/20	U15選手権は第一回大会から 毎年12月に開催予定	選手権		学総地区	学総県大	全中

### 3 リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造

## ■ 年間計画

	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
リーグ					☆	☆																																										
所属 決め																																																
JW																																																
既存 トーナ メント																																																
DC																																																
移籍期間																																																

希望性で最大数を上回った  
場合のみ、該当チームです  
み分けトーナメント実施

8月第2土は、埼玉バスの日

さ市

選考会事業

希望性で最大数を上回った  
場合のみ、該当チームです  
み分けトーナメント実施

8月第2土は、埼玉バスの日

さ市

選考会事業

既存のトーナメント日程、月1回の休息、各地区の実態や学校スケジュールなどを考慮してリーグ日程を入れこみ年間計画を作成

●DCは、原則、第4週（土）14:00-16:00の設定とする。

（集合13:30、練習14:00-16:00、解散目安16:30）

（毎週土曜授業の私立や、大会前で午前はチーム練習へ参加することなども考慮して、午後2時間設定）

●DLは、毎週（日）を基本とする。（実際はブロック毎に調整。（土）利用も可）

●DLは、1ラウンド期間が3ヶ月（約12週）。試合必要週は9週。

よって毎月1週は休息とすることが可能。

●暑い日のDLは半日実施のみ可、オフィシャルタイムアウトは必須とする。

（1チームあたり1試合まで。熱中症の危険があるため、2試合は行わない。SBAガイドライン厳守。）

▲ 新人大会

△ 全中

★ ジュニアオールスター

※ プレJW 2020のみ

◆ JW 2020～

● Winter Madness

◎ U-14 所属リーグ決定戦

☆ U-15 Challenge Match

※ 実際の日程詳細は、各ブロックごとに調整し、運営委員が作成する

## 2 リーグの位置付けと年間計画

### ■ 手順3 年間計画

#### 詳細な年間計画

	9					10					11					12								
日	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全	曜	L	地	県	ブ	全
1	月						水						土						月					
2	火						木						日						火					
3	水						金						月						水					
4	木						土						火						木					
5	金						日						水						金					
6	土						月						木						土					
7	日						火						金						日					
8	月						水						土						月					
9	火						木						日						火					
10	水						金						月						水					
11	木						土						火						木					
12	金						日						水						金					
13	土						月						木						土					
14	日						火						金						日					
15	月						水						土						月					
16	火						木						日						火					
17	水						金						月						水					
18	木						土						火						木					
19	金						日						水						金					
20	土						月						木						土					
21	日						火						金						日					
22	月						水						土						月					
23	火						木						日						火					
24	水						金						月						水					
25	木						土						火						木					
26	金						日						水						金					

グループ毎に

運営委員が詳



- L リーグ
- 地 地区大会
- 県 県大会
- ブ ブロック大会
- 全 全国大会
- DC 育成センター

- ▲ 新人
- \* 学総
- ★ Winter Madness

- ・ 中体連大会との日程調整
- ・ 学校行事との日程調整

グループ毎に  
運営委員が詳細を決定

1. リーグ戦の目的
2. リーグ化の意義
3. 年間計画
- 4. リーグの構造**
5. 実際の運営
6. リーグ戦レギュレーション
7. U15 カテゴリー部会の事業説明



### ■ 「U-14 所属リーグ決定戦」

#### I リーグの希望と決定権限

どのリーグに所属するかは希望制。希望と前回リーグの結果をもとに、SBDL運営事務局により所属リーグが決定される。

#### II 選択肢

希望するリーグの選択肢は以下の4つである。

- ア Champions leagueまたはPremier league
- イ Super league
- ウ 4支部ごとのChampions leagueまたはPremier league
- エ 4支部ごとのSuper league

## ■ 「U-14 所属リーグ構造」

Prefecture league (ﾌﾟﾘﾌｪｸﾁｬｰﾘｰｸﾞ : 以下 P L)・・・県内全域での活動

	名称	略称	区分	所属チーム最大数
県	Champions league	C	1部	10 (10チーム×1グループ)
	埼玉県上位ベスト8相当の力を持つチームが行うリーグ戦			
	Premier league	P	2部	20 (10チーム×2グループ 並列)
	埼玉県上位ベスト16相当の力を持つチームが行うリーグ戦			
	Super league	S	3部	10×希望数 (希望次第、並列)
	埼玉県内全域を対象に県レベルで実力を高めたいと考えるチームが、複数のブロックに分かれて行うリーグ戦 県内全域を希望するチーム数によってグループ数が決まる			

## 4 リーグの構造

### ■ 「U-14 所属リーグ構造」

Regional league (リージョナルリーグ : 以下 R L) …4支部全域 or 11ブロック全域での活動

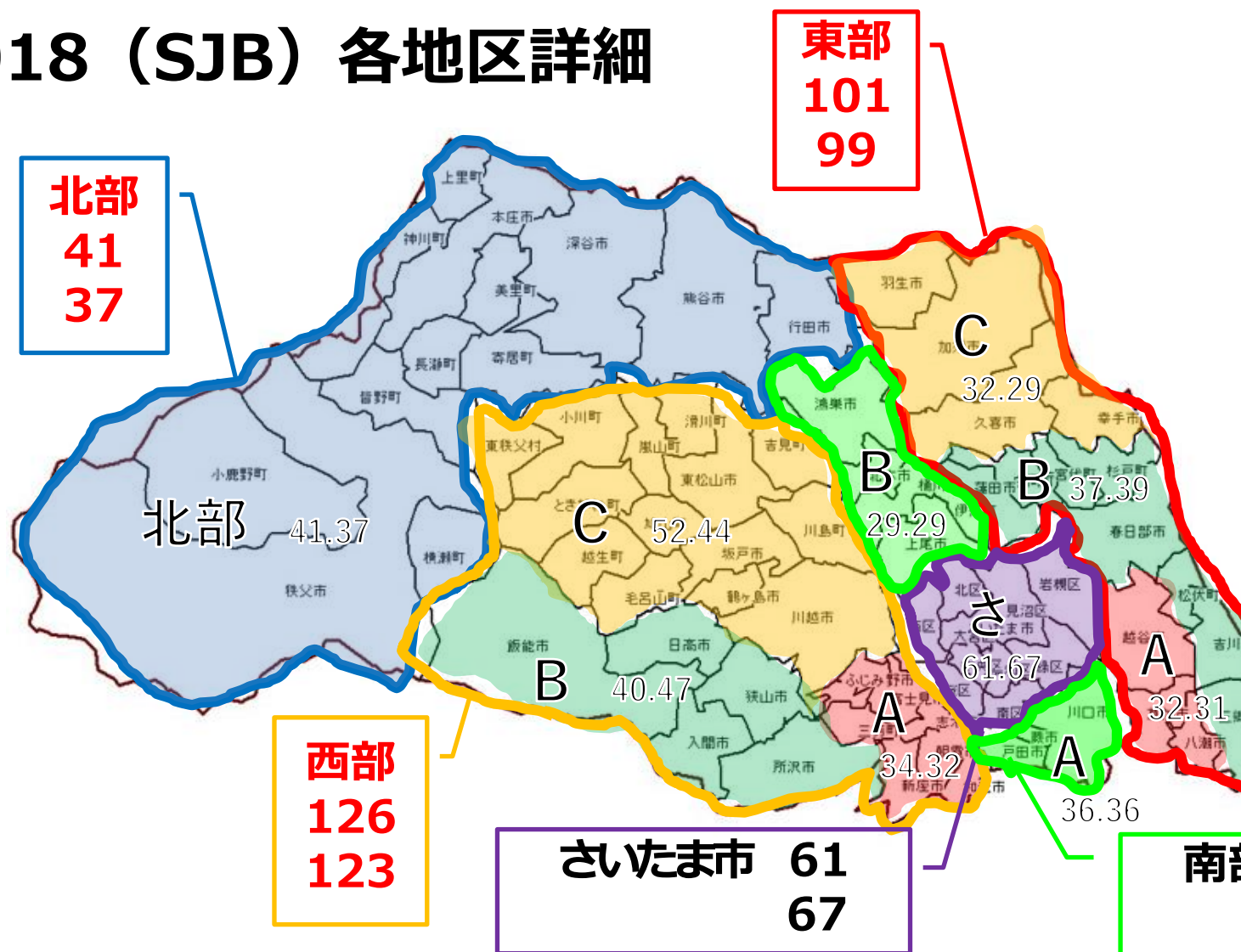
	名称	ブロック	略称	区分	所属チーム最大数
東部	Champions league		Re-C	4部	10 (10チーム×1グループ°)
	Premier league		Re-P	5部	20 (10チーム×2グループ° 並列)
	Super league	東部 A	Re-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		東部 B	Re-SB		
		東部 C	Re-SC		
西部	Champions league		Rw-C	4部	10 (10チーム×1グループ°)
	Premier league		Rw-P	5部	20 (10チーム×2グループ° 並列)
	Super league	西部 A	Rw-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		西部 B	Rw-SB		
		西部 C	Rw-SC		
南部	Champions league		Rs-C	4部	10 (10チーム×1グループ°)
	Premier league		Rs-P	5部	20 (10チーム×2グループ° 並列)
	Super league	南部 A	Rs-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		南部 B	Rs-SB		
		南部 C	Rs-SC		
北部	Champions league		Rn-C	4部	10 (10チーム×1グループ°)
	Premier league		Rn-P	5部	20 (10チーム×2グループ° 並列)
	Super league	北部 A	Rn-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		北部 B	Rn-SB		



## ■ SBDL地域区分の見直し (SBAとしての統一)

28年度SJB所属校数  
**男子386、女子380**

### ～2018 (SJB) 各地区詳細



さいたま市のみ  
大きな規模で地区  
予選 (多くの  
日程を要する)  
を行っている

予選の日程や規  
模が、地区に  
よって大きく異  
なっている

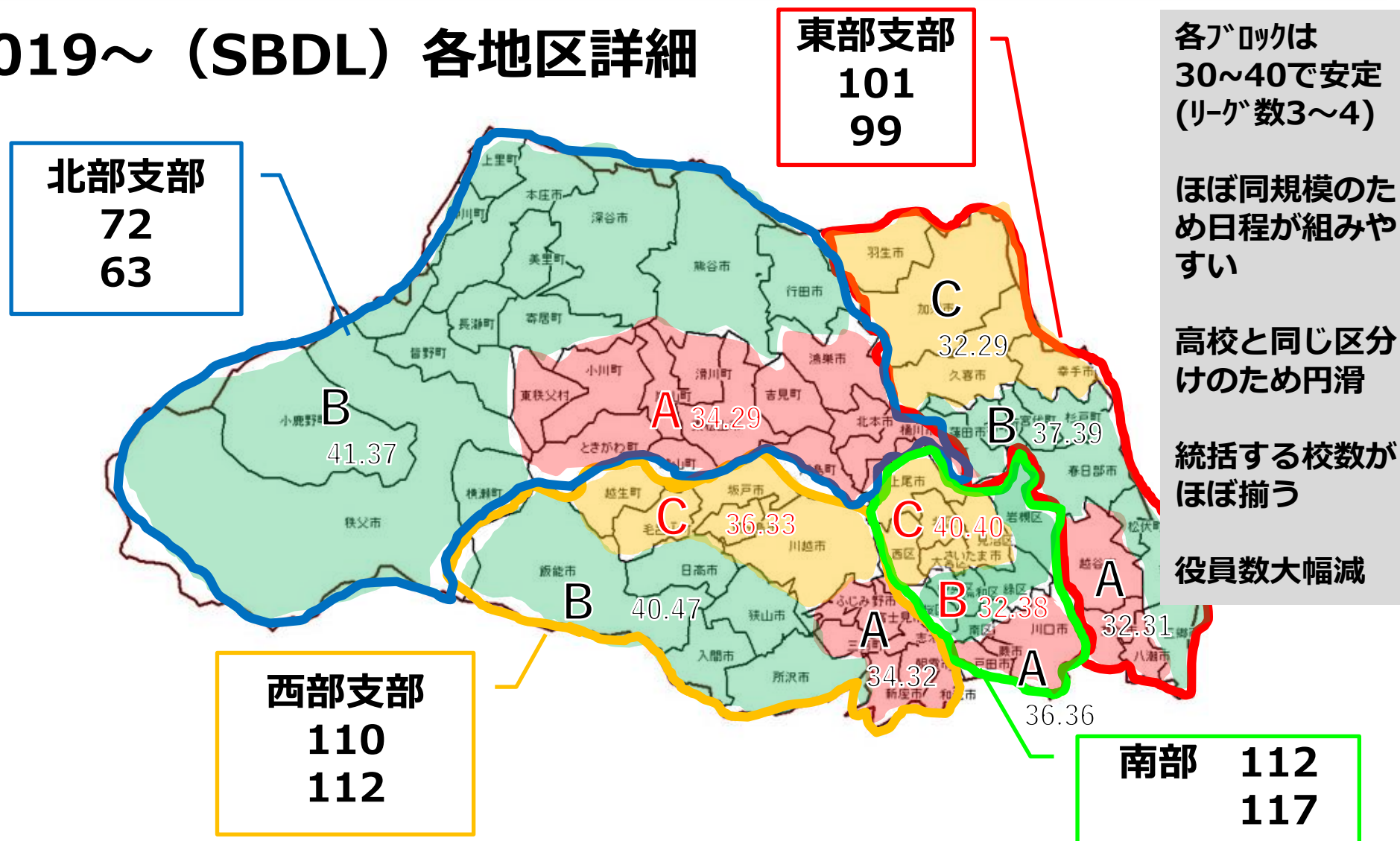
高校とのつなが  
りが円滑でない

南部が分断され  
ているため不便

## ■ SBDL地域区分の見直し (SBAとしての統一)

28年度SJB所属校数  
**男子386、女子380**

### 2019～ (SBDL) 各地区詳細



## 4 リーグの構造

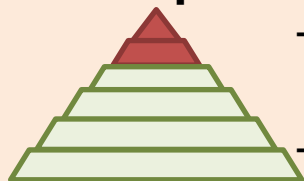
### ■ 学校数一覧

	市町村名	男子	女子	新11地区	新地区男	新地区女
新東部地区	越谷・八潮	21	20	東部A	32	31
	草加	11	11			
	春日部	11	12			
	蓮田・白岡・宮代・杉戸	14	14	東部B	37	39
	三郷・吉川・松伏	12	13			
	加須・羽生	10	9	東部C	23	20
	久喜・幸手	13	11			
	合計	92	90			
新西部地区	朝霞地区(朝霞・志木・和光・新座)	20	18	西部A	34	32
	入間東部	14	14			
	所沢	15	15	西部B	40	47
	狭山	8	9			
	入間	9	11			
	入間西部	8	12	西部C	36	33
	川越	24	21			
	入間北部	12	12			
	合計	110	112			
新南部地区	川口市	26	26	南部A	36	36
	蕨・戸田	10	10			
	さいたま市A (岩槻、浦和区、桜区、緑区、中央区、南区)	36	42	南部B	36	42
	さいたま市B (旧大宮市一北区、西区、大宮区、見沼区)	26	25			
	伊奈	3	3	南部C	40	39
	上尾	11	11			
	合計	112	81			
新北部地区	北足立北部(現行は南部)	15	15	北部A	40	35
	比企郡(現行は西部)	16	11			
	行田(現行は東部)	9	9			
	秩父	10	9	北部B	41	37
	児玉	9	9			
	熊谷	12	9			
	深谷・寄居	10	10			
	合計	81	72			

### ■ 「U-14 所属リーグ決定戦」

#### Ⅲ 希望の条件

##### ア Champions leagueまたはPremier league



- **U15選手権**およびU15選手権県予選に参加する意図があり、環境  
(選手・保護者・場合によっては学校関係者の承認)が整っていること
- リーグ戦開催場所が**県内全域**になっても対応ができること

##### イ Super league



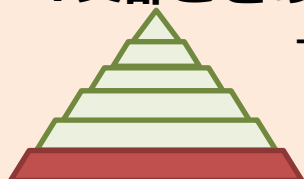
- リーグ戦開催場所が**県内全域**になっても対応ができること

##### ウ 4支部ごとのChampions leagueまたはPremier league



- リーグ戦開催場所が**自チームの支部全域**になっても対応ができること

##### エ 4支部ごとのSuper league



- リーグ戦開催場所が**自チームのブロック全域**になっても対応ができること

### ■ チーム数・試合数

チーム数	1 周/1チーム	総試合数	2周/1チーム	総試合数
<b>10チーム</b>	<b>9試合</b>	<b>45試合</b>	<b>18試合</b>	<b>90試合</b>
9チーム	8試合	36試合	16試合	72試合
8チーム	7試合	28試合	14試合	56試合

- ① グループリーグのチーム数によって上記の総試合数の会場確保、日程確保、審判確保が必要となる。
- ② **SBDLでは、チーム数を原則・最大10チームとする。**
- ③ つまり、すべてのチームに**公式戦・年間18試合**が約束される。  
(JBAから提示された年間試合数は「**15～20試合以上**」のため、条件を満たす)

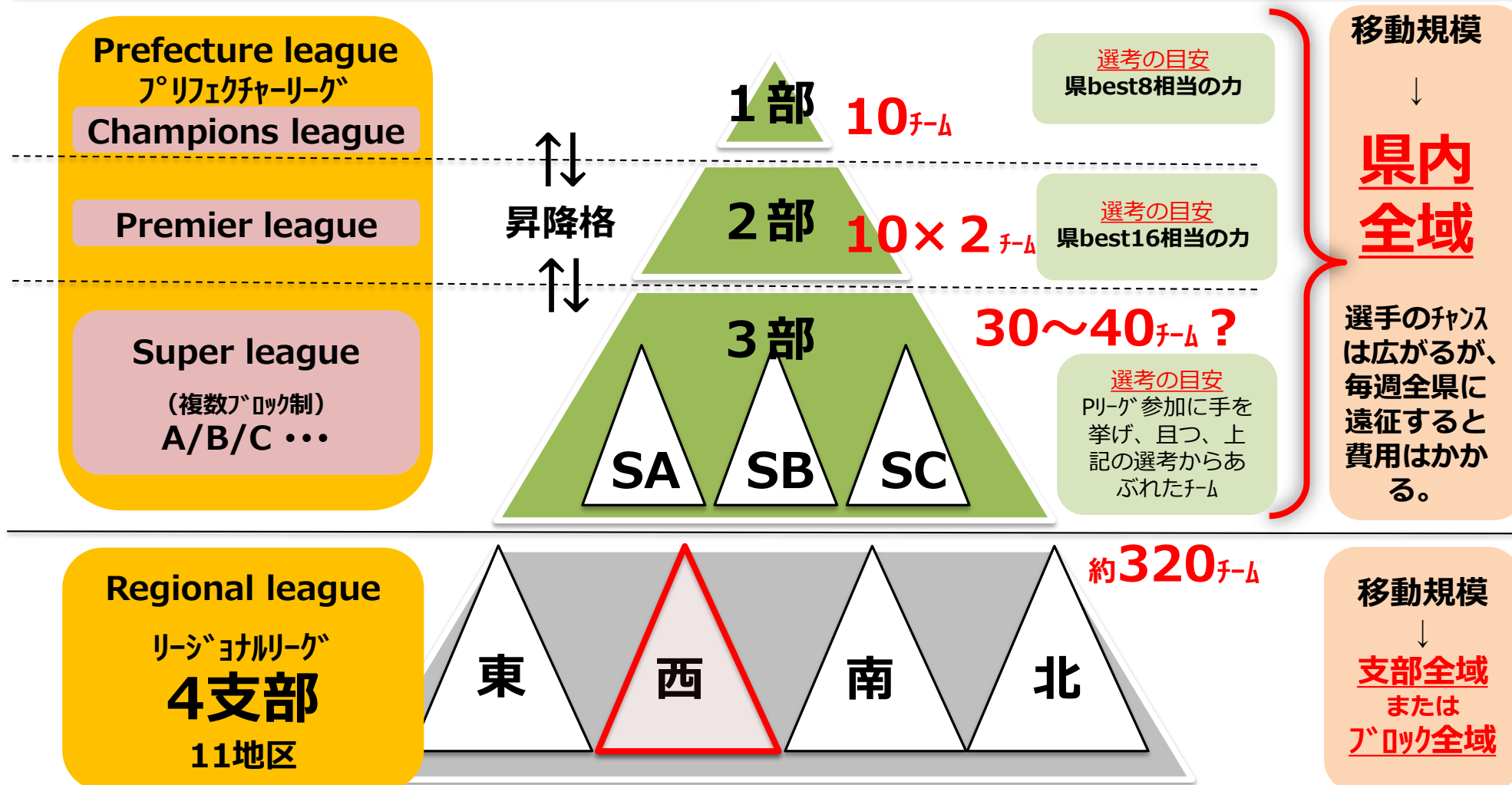
## 4 リーグの構造

### ■ リーグ構造 「全体イメージ」

28年度SJB所属校数 **男子386、女子380**

※ PCか.PPか.PSか、RLか、どのリーグに所属したいかは、各チーム**希望制**。

※ **希望数が所属最大数を上回った場合は、前年度成績を参考にして、事務局が振り分ける。**







## ■ 1日の運営例 パターンA(10チーム 1日1試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場1面使用で各チーム1日1試合の運営例

### ① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

下記の運営日程を9日間確保(月に3回、月1回は休息)すると、下の10チームリーグを1周(45試合)消化可能。

※ 時間的にゆとりがあり、アップ指導なども丁寧に行えるので、ABC案の中で最も望ましい。

※ チームは、時間帯で会場入りできる。

	時間	XJ-ト	審判	空き
集合	8:00			
第一試合	9:00	<b>A-B</b>	I-J	CDEFGH
第二試合	10:30	<b>C-D</b>	A-B	EFGHIJ
第三試合	12:00	<b>E-F</b>	C-D	ABGHIJ
第四試合	13:30	<b>G-H</b>	E-F	ABCDGH
第五試合	15:00	<b>I-J</b>	G-H	ABCDEF
解散	16:30			



## ■ 1日の運営例 パターンB(10チーム 1日1試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場2面使用で各チーム半日で1試合の運営例

### ① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

下記の運営日程を

**9日間確保 (月に3回、月1回は休息)**

すると、下の10チームリーグを  
1周(45試合)消化可能。

※ 他競技との体育館の兼ね合いもあるため、  
「日程調整はできたが会場確保が困難」など  
という場合には有効。

※ 運営的には、少し忙しい。

	時間	OJ-ト	審判	PJ-ト	審判	空き
集合	8:00					
第一試合	9:00	<b>A-B</b>	I-J	<b>G-H</b>	D-E	CF
第二試合	10:30	<b>C-D</b>	A-B	<b>I-J</b>	F-G	EH
第三試合	12:00	<b>E-F</b>	C-D			ABGH
解散	13:30					

## ■ 1日の運営例 パターンC(10チーム 1日2試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場2面使用で各チーム1日2試合の運営例

### ① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

左記の運営日程を**5日間確保**すると、下の10チームリーグを1周(45試合)消化可能。

※ 2試合目は疲労も出るため、出来れば、一日一試合が望ましい。日程調整が困難な場合など、10チームすべての了承があれば実施は可能。

	時間	コート	審判	コート	審判	空き
集合	8:00					
第一試合	9:00	<b>A-B</b>	I-J	<b>F-G</b>	D-E	CH
第二試合	10:30	<b>C-D</b>	A-B	<b>H-I</b>	F-G	EJ
第三試合	12:00	<b>E-F</b>	C-D	<b>A-J</b>	H-I	BG
第四試合	13:30	<b>G-H</b>	E-F	<b>B-C</b>	A-J	DI
第五試合	15:00	<b>I-J</b>	G-H	<b>D-E</b>	B-C	AF
解散	16:30					

## 4 リーグの構造（入れ替え戦について）

### ■ 「U-15 Challenge Match」 SBDL入替戦

- ※ 運営は、リーグ戦と同様、すべて該当チーム内で行う。  
（常に、運営者はチームでありチームは運営者である）
- ※ 会場は、事務局が確保する。

#### 対戦カード（男・女、PL・RLも同様）

##### 1部-2部間の入替

- 1部(CL)-10位 vs 2部(PL)-1位
- 1部(CL)- 9位 vs 2部(PL)-2位

##### 2部-3部間の入替

（SLの対戦カードはくじで決定する）

- 2部(PL)-10位 vs 3部(SA)-1位
- 2部(PL)- 9位 vs 3部(SB)-1位
- 2部(PL)- 8位 vs 3部(SC)-1位

#### タイムスケジュール

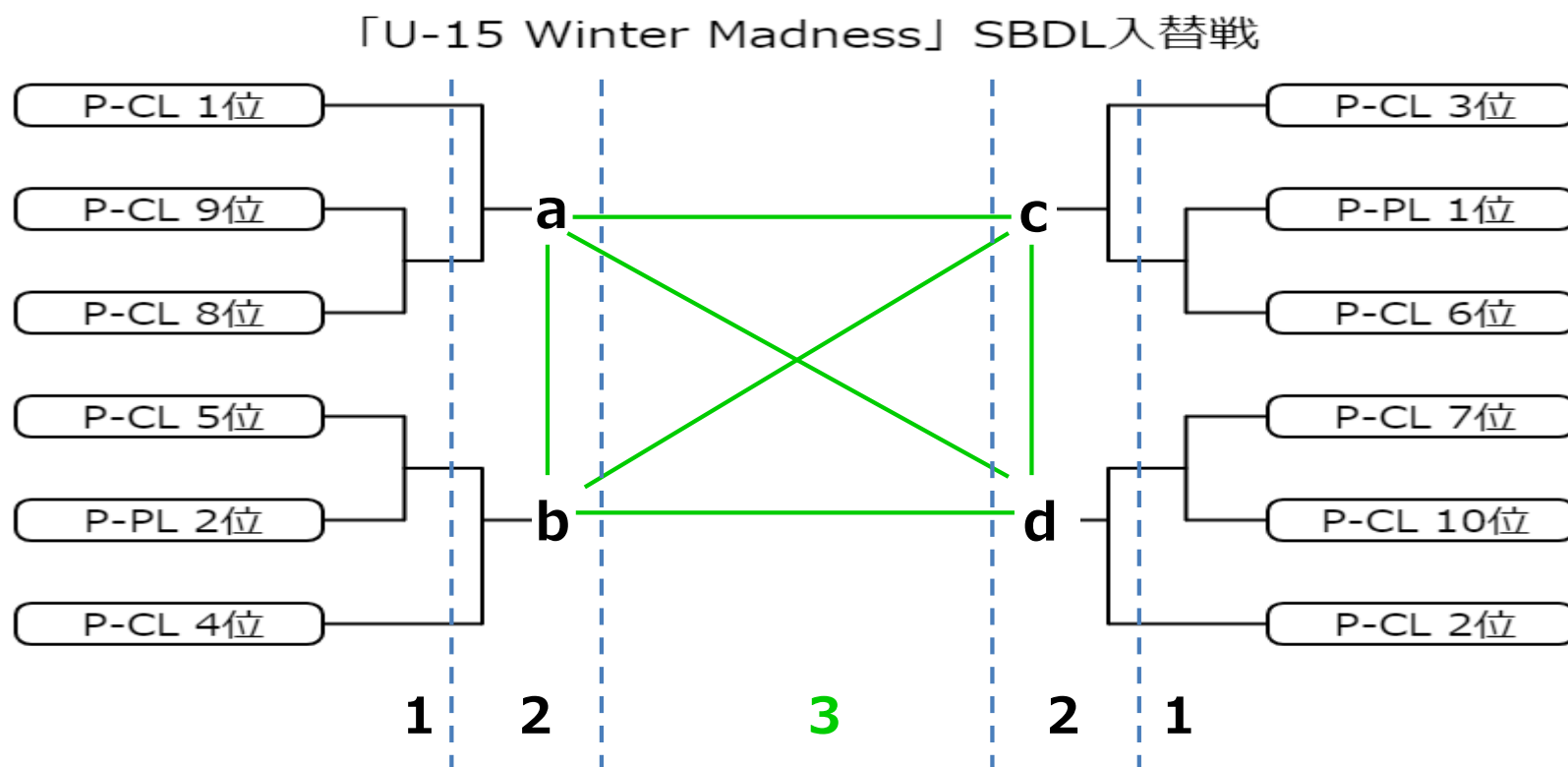
	時間	コート	審判	コート	審判
集合	8:00	Prefecture league		Regional league	
①	9:00	C10-P1	P10-SA1	C10-P1	P10-SA1
②	10:30	C9-P1	C10-P1	C9-P1	C10-P1
③	12:00	P10-SA1	P8-SC1	P10-SA1	P8-SC1
④	13:30	P9-SB1	C9-P1	P9-SB1	C9-P1
⑤	15:00	P8-SC1	P9-SB1	P8-SC1	P9-SB1
解散	16:30				

各試合の勝敗に基づいて昇降格を行い、  
Autumn round U-15 を迎える。

## 4 リーグの構造 (Winter Madnessについて)

### ■ 「U-15 Winter Madness」 SBDL入替戦

3日間開催、最終日はダブルハッダー  
リーグ戦で丁寧に優勝を決める

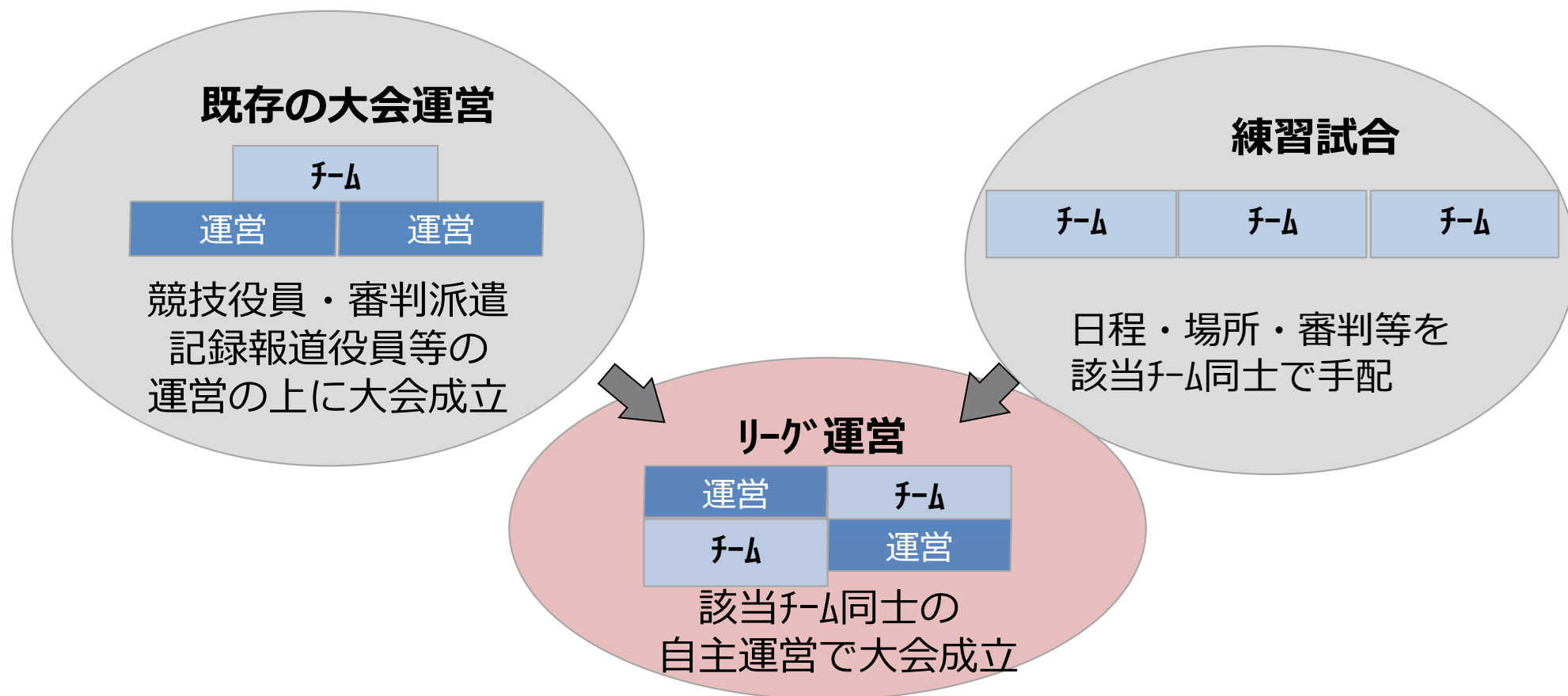


優勝チームはJW出場権獲得

1. リーグ戦の目的
2. リーグ化の意義
3. 年間計画
4. リーグの構造
- 5. 実際の運営**
6. リーグ戦レギュレーション
7. U15 カテゴリー部会の事業説明



## ■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方



- 形式がリーグ戦というだけ。
- あくまでも練習試合の感覚で自分たちの手で大会を運営。
- 何より大切にすべきことは、リーグ戦化の意義「選手の育成」

## ■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方

### 「リーグ戦を日常にする文化醸成」実現へのリーグ運営

- ①運営とチームを分ける考え方から、**参加者同士が相互に運営をするという考え方へシフト**する
- ②**運営を役員に任せるという文化の脱却**がリーグ文化醸成、バスファミリーを増やす種まきになる

※ 当日運営以外に必要な**事前準備・中期計画・年間計画**を各アンダーカテゴリ部会で準備する

#### リーグ運営

常に運営者はチームでありチームは運営者である

チーム	運営	チーム	運営
運営	チーム	運営	チーム

勝敗に関係なく参加  
チームとしてゲームと自主  
運営を継続

## ■ 県内リーグ実施の人的配置

### 運営事務局 ※運営委員とは掛け持ちしない

委員長(立花) 副委員長(伊藤、青木、桜井、奥谷) 中体連(川鍋) クラブ(目)  
 競技(有山) 審判(若林) 財務(斉藤、池田) 総務(渡辺、水野) 広報(業者)

### 運営委員 ※ ( ) の中の運営委員は、各ブロック10チーム内から決定される。

		運営委員										備考	
Prefecture league 県	1部	( ) ( )										県チーフ (長谷河) (上村)	
	2部	( ) ( )											
	3部	( ) ( )											
Regional League 4支部	4部	( ) ( )		( ) ( )		( ) ( )		( ) ( )		( ) ( )		4 支部チーフ 東 (石合) 西 (川端) 南 (齋藤) 北 (青木)	
	5部	( ) ( )		( ) ( )		( ) ( )		( ) ( )		( ) ( )			
	6部												11地区チーフ 東ABC 西ABC 南ABC 北AB



## ■各リーグのセクション組織の方法

### 「注意点」

- バス未経験者にいきなり役職が回ってきたときに負担にならないように役割分担を行う。
- 「運営者」＝「チーム」「選手のために運営を行う。」子どもがゲームをすることが一番の目的。
- 全リーグ運営方法を統一することでチーム代表への負担を減らす。

### 仕事内容（例）

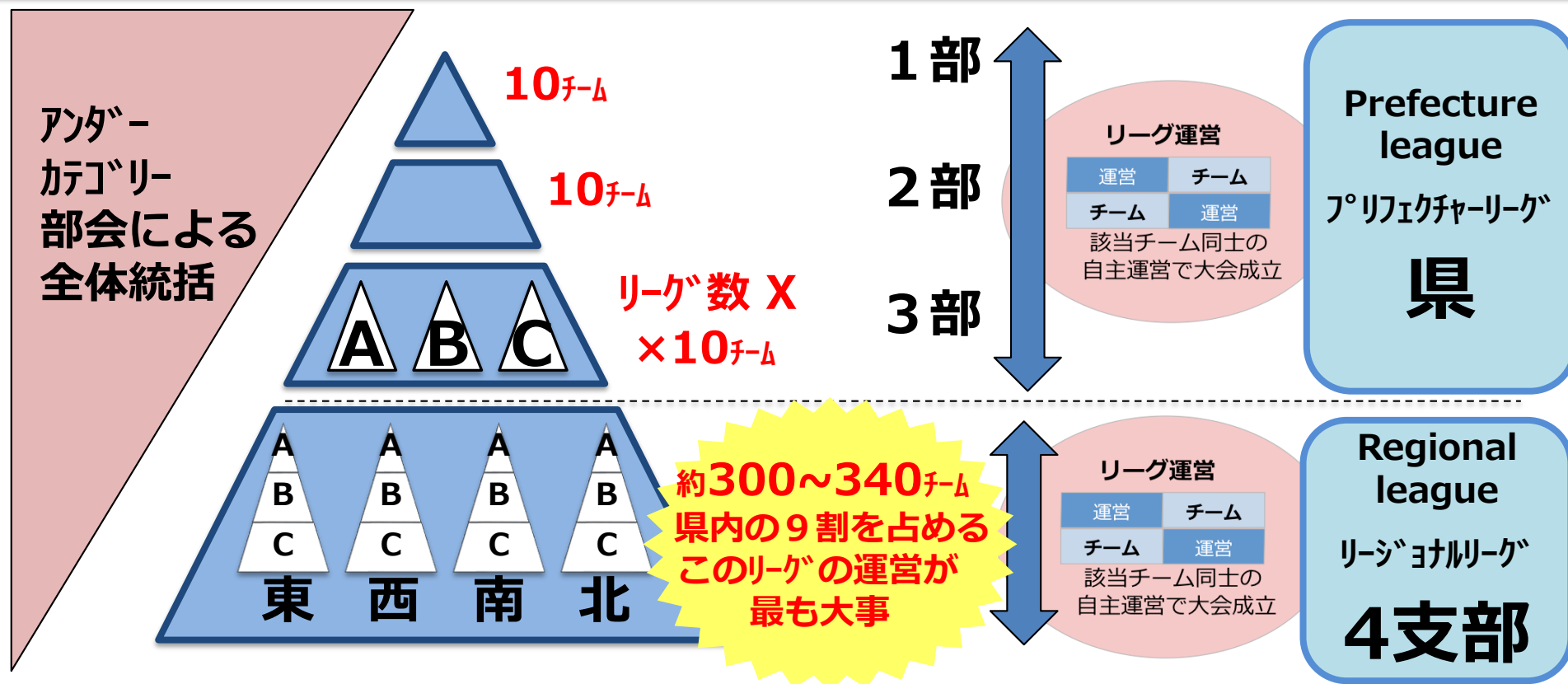
	仕事内容
運営委員 2 名	○リーグ戦内において各チームの代表者に役割分担を依頼（二人で相談する） ○リーグの実際の運営、要項作成、スケジュール策定、（パンフレットの作成）（1名） ○地区担当との連絡調整、試合結果報告、関係チームへの連絡調整等（1名）
競技担当 2 名	○機材の管理・準備、スコアシートの準備・管理、対戦表等の管理等（1名） ○マンツーマンコミッショナーの会場担当者、選手・コーチ証（ID）の確認（1名）
審判担当 2 名	○帯同審判の策定、割り当ての作成、審判部との連絡等（2名） ＊ライセンス取得者が望ましい。
財務担当 2 名	○リーグに関わる会計、競技運営部会計との連絡調整等（2名）
会場担当 2 名	○会場準備調整、会場の写真撮影（1名） ○駐車場・駐輪場確認、会場での安全管理（1名）
A・Bチームが「運営委員」C・D「競技担当」E・F「審判担当」G・H「財務担当」I・J「会場担当」	

### 「伝達方法」

- Pリーグ（県）の「運営委員」は、U15部会で依頼する。
- Rリーグ（支部）の「運営委員」は、U15部会の「地区代表」が依頼する。
- 「運営委員」が各チーム代表者に役割分担を依頼する。
- 仕事内容は、U15部会で各セクションからの伝達を「運営委員」が伝える。
- **専門外のチーム代表者がいることに配慮して役割分担を依頼する。（リーグの構成によって柔軟に）**

## ■ SBDL運営イメージ

28年度SJB所属チーム数  
**男子386、女子380**



**運営事務局** (7~8名)

**運営委員** (2名×リーグ数)

➡ 県内リーグ全体の運営統括  
➡ 各リーグ内の運営・調整

1. リーグ戦の目的
2. リーグ化の意義
3. 年間計画
4. リーグの構造
5. 実際の運営
- 6. リーグ戦レギュレーション**
7. U15 カテゴリー部会の事業説明



### ■ SBDLの順位決定方法

- **チームの順位は、勝ち点（ポイント）によって決定**し、リーグ戦全日程が終了した時点で、勝ち点が高いチームを各ブロックの上位とする。

**勝利・・・2点 敗北・・・1点 没収試合・・・0点**

- ただし、**勝ち点で同じ順位になった場合**には、以下の各号の順序により順位を決定する。
1. 当該チーム同士が対戦したゲームのみでの勝ち点が多いチーム
  2. 当該チーム同士が対戦したゲームのみでの得失点差が多いチーム
  3. 当該チーム同士が対戦したゲームのみでの1試合の平均得点が高いチーム
  4. リーグ戦全日程における得失点差が多いチーム
  5. リーグ戦全日程における1試合の平均得点が高いチーム

### ■ SBDL U15 運営に際し以下を**規定**とする

- リーグ期間は、前期・後期の**年間2ステージ**を設定
- 選手の2つ以上のチームへの登録は不可（**二重登録不可**）
- 登録期間は4/1～5/10。（5/12頃から入替戦）移籍期間は7/25～7/31。
- 選手の**登録チーム変更はリーグ期間中は不可**

（原則、移籍期間中にのみ可、転校等の場合は特別に認める）

- **コーチは、JBAコーチライセンスE級以上の資格保持者**
- **審判は、JBA審判ライセンスE級以上の資格保持者**
- **ベンチで指揮を執るコーチは、コーチライセンスをぶらさげる。**

※ 当面の間は、  
推奨とする。

- ゲーム開始前、コーチは、選手の登録証を提示する。  
運営委員は、**提示された登録証とエントリーシート**を照らし合わせ、  
エントリーと同じ選手が試合に参加することを確認する。  
（2つ以上のエントリーがあるチームについては、エントリーしたエントリーどおりの参加かどうか確認を行う）…運営委員の中に「エントリーチェック」の仕事を設置
- 二重登録の発覚、JBA未登録選手の出場、エントリーしたものと整合性のない選手の出場、など**登録上の不備が発覚した場合、該当チームは、リーグ期間中のゲームはすべて20-0で敗戦の結果とする。**

登録は～5/10までのため入替戦参加チームは注意が必要。  
その他は、学校登録し総体後に移籍することは可能。  
※ただし、いずれ5・6月に大会の可能性もゼロではない…

### ■ SBDL U15 運営に際し以下を**推奨**とする

- 複数チームエントリーの場合、2チーム目以降の登録人数を**7名**以上
- 年間試合数は**15～20試合**以上
- U15チーム登録にU12選手の飛び級登録は可(**枠数2名**)

### ■ リーグ戦運営事業としての条件 (D-fund申請が対象事業条件より一部抜粋)

- 都道府県協会主催事業であること
- **参加選手がJBA登録をしていること**
- バンクで指揮を執る指導者は**JBA公認コーチライセンス**を取得していること
- 担当する審判員は**JBA公認審判ライセンス**を取得していること
- 原則として**6チーム以上**で構成されるリーグであること
- 1チームあたりの試合数が5試合以上確保されること

### ■ その他

- 年間試合数は **15～20試合**以上
- U15チーム登録にU12選手の飛び級登録は可(**枠数2名**)

### ■ リーグ戦運営事業としての条件 (D-fund申請がトラン対象事業条件より一部抜粋)

- 都道府県協会主催事業であること
- **参加選手がJBA登録をしていること**
- バンチで指揮を執る指導者は**JBA公認コーチライセンス**を取得していること
- 担当する審判員は**JBA公認審判ライセンス**を取得していること
- 原則として **6チーム以上**で構成されるリーグであること
- 1チームあたりの試合数が5試合以上確保されること

### ■ ユニットのエントリー規定

- JBAにチーム登録をしていること。
- ユニットがどのリーグに所属するかは希望性である。その希望を受けてSBDL運営事務局により所属リーグを決定する。
  - 所属リーグの決定方法に際しては、5 所属リーグの区分け方法とU15選手権都道府県予選トーナメント参加資格を参照。
- 1つのチームが複数のユニットをつくり参加することができる。
  - 同一チーム内の別のユニットが同じリーグへ参加することを認める。
  - **複数ユニットを組む場合**は、以下の条件を満たさなければならない。
    - ア **ファーストユニット7名以上、セカンドユニット以降も7名以上**であること
    - イ ユニット名はファーストユニットが **(チーム名) A** セカンドユニット以降は **(チーム名) B・・・**とする。
  - ※ この規定はあくまでも複数のユニットを出す場合に適用されるのであって、チームから1ユニットしかリーグ戦に出場しない場合は適用されない。つまり、チームから1ユニットしかエントリーしない場合は、5名以上選手がいればリーグ戦に参加可能である。



### ■選手のエントリー規定

- JBAにチーム登録をしているチームに所属し、個人登録をしている者。
  - **JBAの登録証は大会中必ず携帯**すること。
  - 2018年度からの3年間（2018年度～2020年度）の移行期間に限り、Bクラブと中学（部活動）、Bクラブユースとクラブチームの二重登録を認める。
- **選手は、自分の所属しているチームのユニットでのみ参加することができる。**
- 選手のエントリーに関わり、以下の取り決めを行う。
  - Bクラブユースと中学（部活動）、Bクラブユースとクラブチームの二重登録をしている場合、どちらのチームにエントリーするかは選択することができる。ただし、どちらのチームでもエントリーすることはできない。また、移行については県で決められた移行期間内では移行することができる。
- U12/U15/U18のカテゴリー枠を超えた選手の飛び級参加を認める。ただし、飛び級を認めるのは以下の場合のみである。
  - 飛び級とは年齢が下位のカテゴリーから上位のカテゴリーの移行を指す。
  - 同一Bクラブユース、クラブチーム、または中高一貫校の中での飛び級であること。
  - 飛び級による選手のエントリー枠をアンダーエイジ枠とし、各ユニットの**アンダーエイジ枠は最大2名**とする。
- 選手の移籍については、以下のように行う。
  - 中学（部活動）、クラブチーム、Bクラブユースのいずれかに登録を行った後、年度内で1回のみ移籍を認める。
  - **移籍の手続きは、8月21日～8月31日の期間のみ。**それ以外の期間での移籍は認めない。
  - 移籍の手続きは、所定の書類を作成し、SBDL運営事務局まで提出すること。

### ■コーチのエントリー規定

- チームおよびユニットのコーチはE級ライセンス以上を保持しなければならない。
- 以下の遵守事項を守り、指導にあたること。万が一、この事項が守られない場合は、コーチのエントリー資格を剥奪する場合がある。また、翌年以降もエントリーを認めない場合がある。

#### 遵守事項

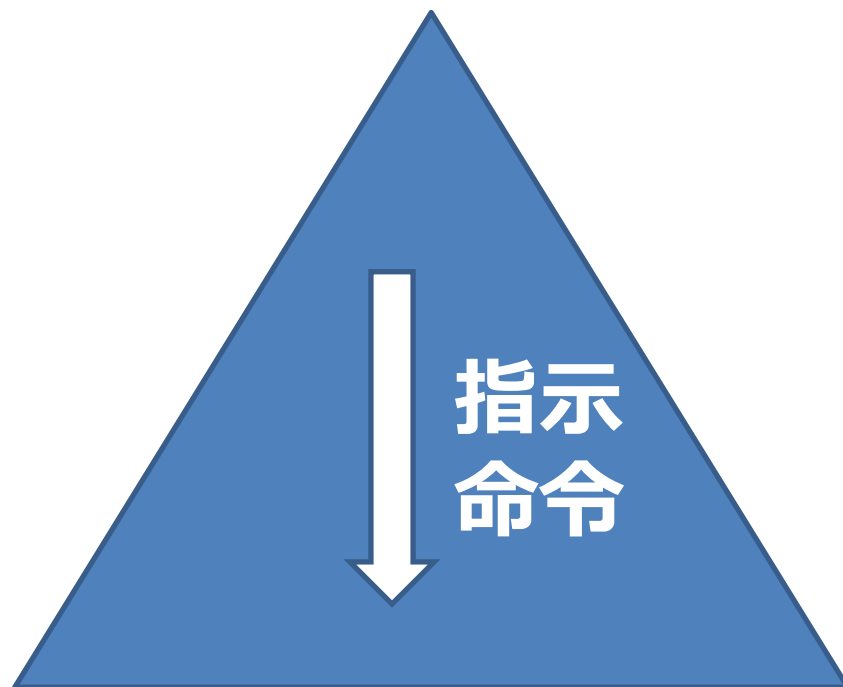
暴力根絶宣言を行い、行動規範を遵守する。

行動規範には暴言暴力のほか、不適切な指導、安全義務違反、リクルート、金品の贈与および受理が含まれる。特に重大な過失を伴う重い事故が生じた場合、保険だけでは対応ができない場合があること、指導者個人が訴訟対象となることを認知しておくこと。

1. リーグ戦の目的
2. リーグ化の意義
3. 年間計画
4. リーグの構造
5. 実際の運営
6. リーグ戦レギュレーション
- 7. U15 カテゴリー部会の事業説明**



## 事業へのアプローチの方法



トップダウン・アプローチ



ボトムアップ・アプローチ

# 事業を行う際の注意点

## 1. DL事業展開で必要なことは、県と地区との役割分担

- 地区以下の事業は、基本的に地区で企画立案する。
- 地区の実情に即した現実的な運営が期待される。
- 地区組織の「事業への参画意識」が醸成されることも期待。

## 2. 県事務局は、ある程度のガイドライン作成と、 地区から上がってきた案の承認を主とする。

- 県ですべてを企画から運営までをやるのではなく、**一定の権限を地区に委譲することも円滑な運営のために必要。**
- ただし、**責任の所在が県にあることを明らかにするために、承認と決定の機関として設定**する。

### ● 県事務局の主たる仕事の内容、権限

- 事業内容の承認および決定
- JBAからの情報伝達、連絡（技術やマネジメント、ルール改正等）
- 会計処理の方法（報告書の作成や予算の使途等）

### ● これまでの事業を通して、組織としての課題

- 一番の課題は、**組織の脆弱性**（様々な場面で問題が起きた）
- 特に、**会計処理と連絡体制**の面では課題が山積していた。
- **原因**は、県準備部会の**想定甘さ、地区との連携不足**。
- このため、リーグ戦事業の議論を進める一方で、**部会の位置づけ、役割の明確化、組織の在り方の見直し**等が必要であった。
- 今後、地区へ伝達を行う。その方法については、これまでの学びを活かし、地区と密に連携をとりながら適切に運営する。

### 年度当初の理解（整理前） →→→ 埼玉県内での整理後

#### 育成委員会

- … 旧エンデバー事業の引継ぎ
- … 「育成センター事業」の運営  
→ 育成世代の【強化の側面】を担う
- … 県協会の専門委員会の一つ

#### アンダーカテゴリー部会

- … 新設
- … 「リーグ戦事業・県協会主催競技会」の運営  
→ 育成世代の【普及の側面】を担う
- … 県協会としてのU12.U15.U18世代の各カテゴリーを  
総括する役割を担う。

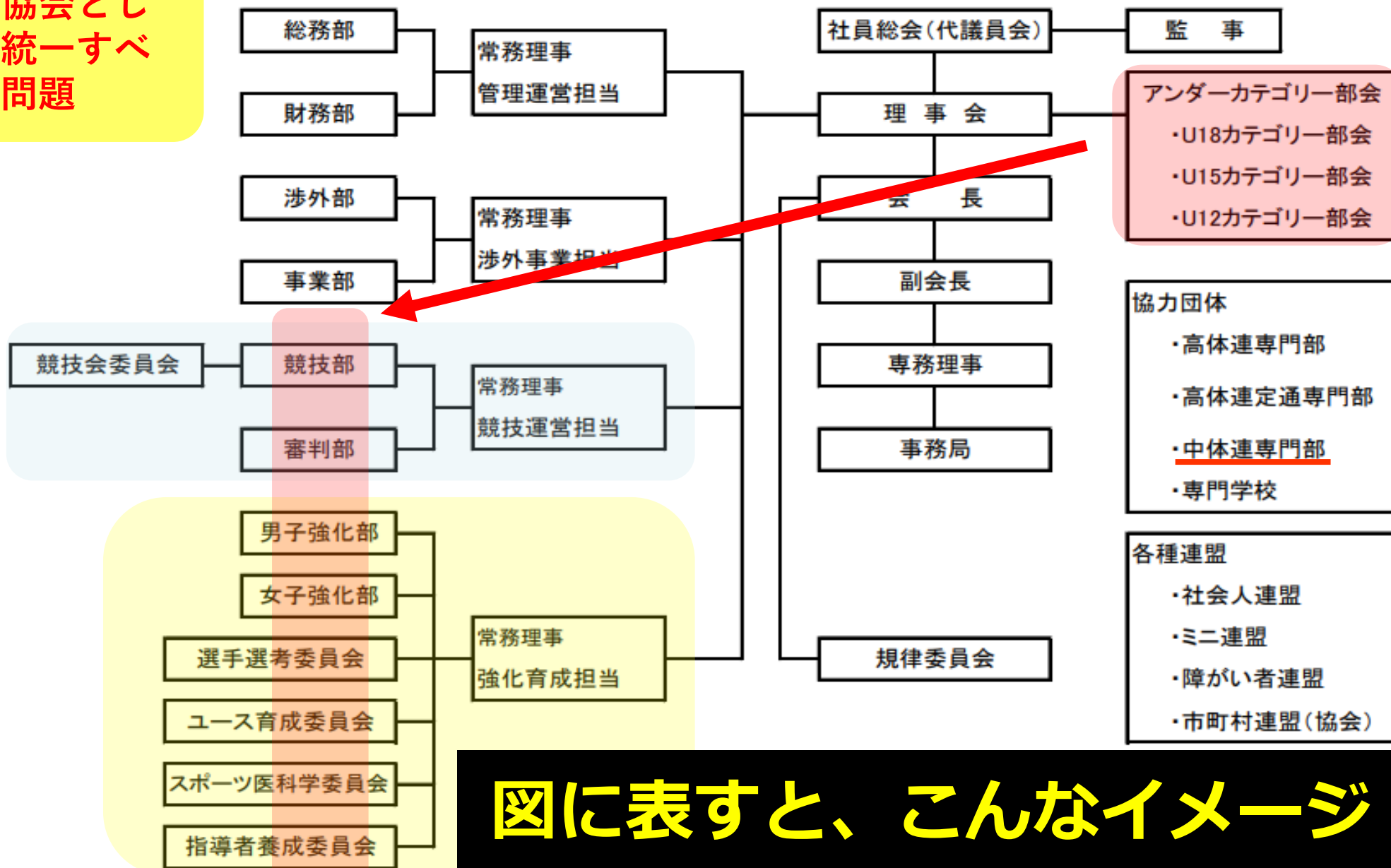
- ・ 育成委員会とアンダーカテゴリー部会は別組織、このため会議も別々に行う。
- ・ ただし、それではうまくいかないので、連携をとりながら上手に進める。
- ・ しかし、総括する組織とその機能がないため、連絡体系や役員配置の整理が曖昧なまま統治できなかった。カテゴリー内でのトラブルはリーグ戦事業もDC事業も同時並行に起こり、把握や対応に苦労した。組織全体の方向性の修正が必要だということが全体で確認された。

→ アンダーカテゴリー部会は、各カテゴリーを総括する機能を持ち、カテゴリー内における専門委員会への役員配置や連絡体系等を把握する。

## 7 U15カテゴリー部会の事業説明

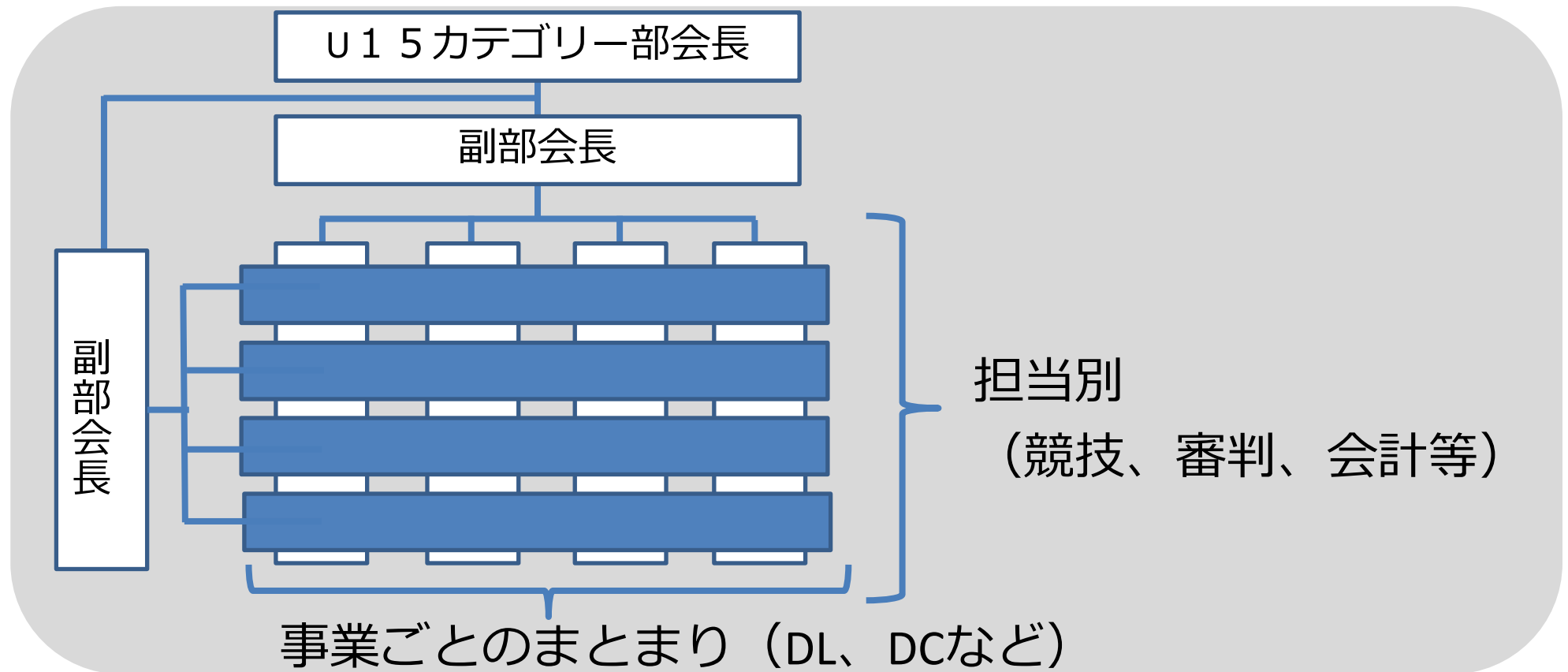
県協会として統一すべき問題

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 組織図





# U15 アンダーカテゴリー部会の組織構造の考え方



## マトリックス構造

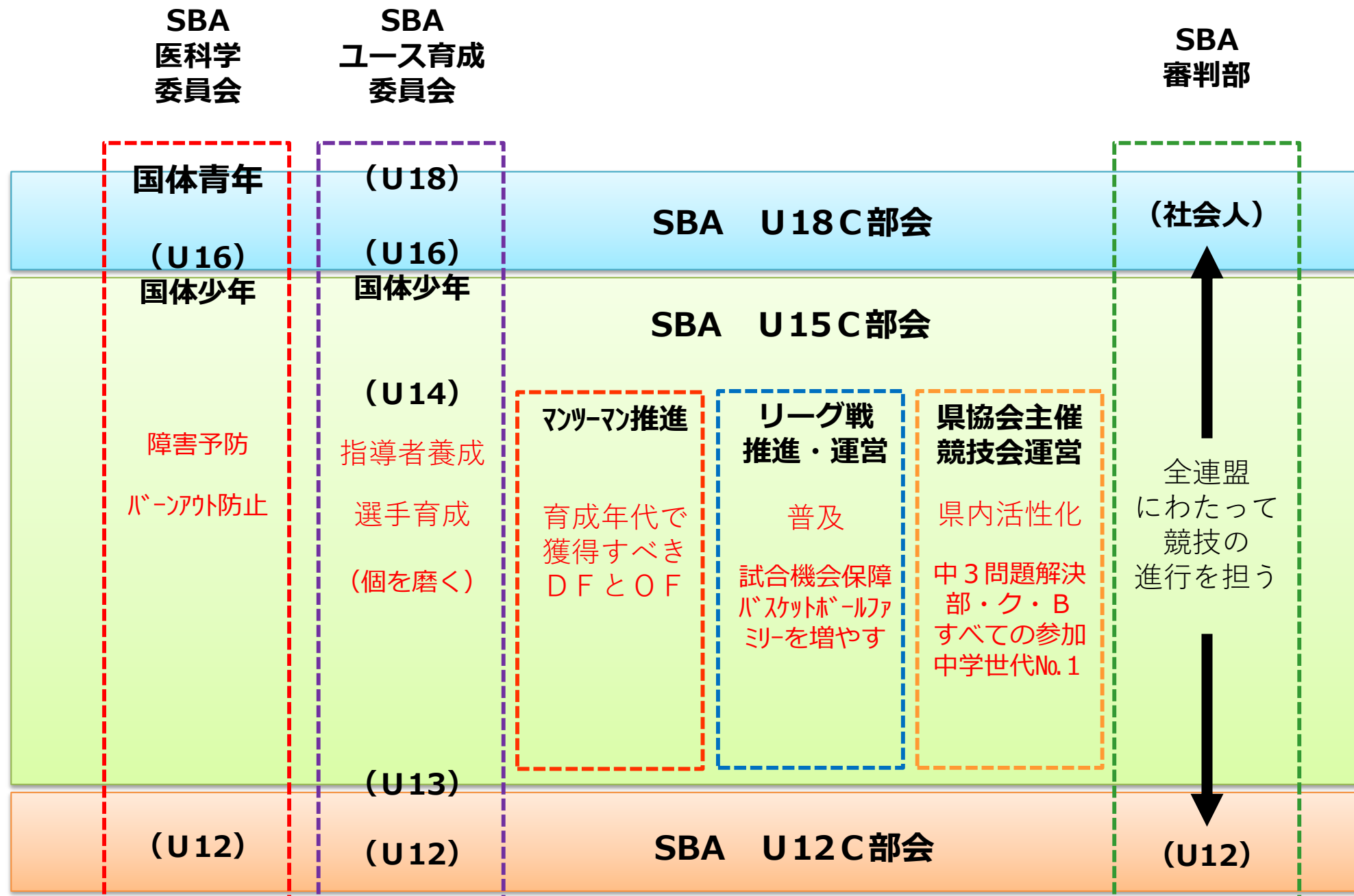
事業毎に各担当をおくことでその事業毎に完結した作業（提案から実施まで）ができると同時に、担当ごとの専門性の向上を目指すものである。

### DLという事業を運営するための組織構造

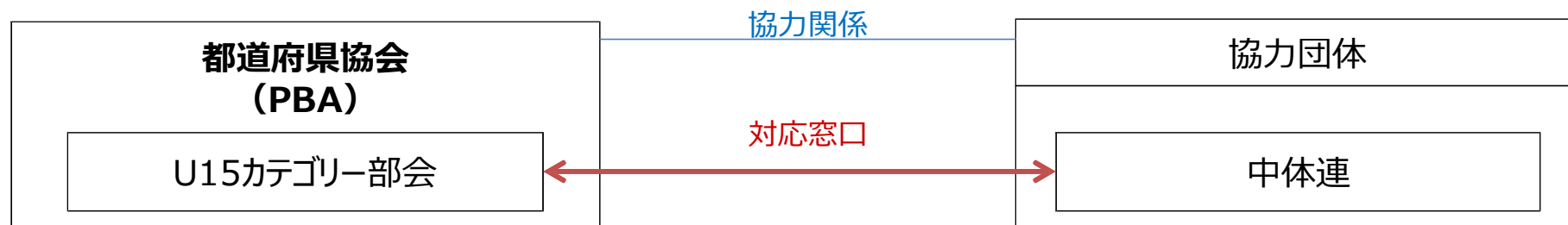
U15 カテゴリー部会の中に、DL事業部をつくり、実務作業はこの事業部内で行うこととした。



# 7 U15カテゴリー部会の事業説明



### 2018年度以降の中体連との関係

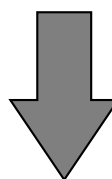
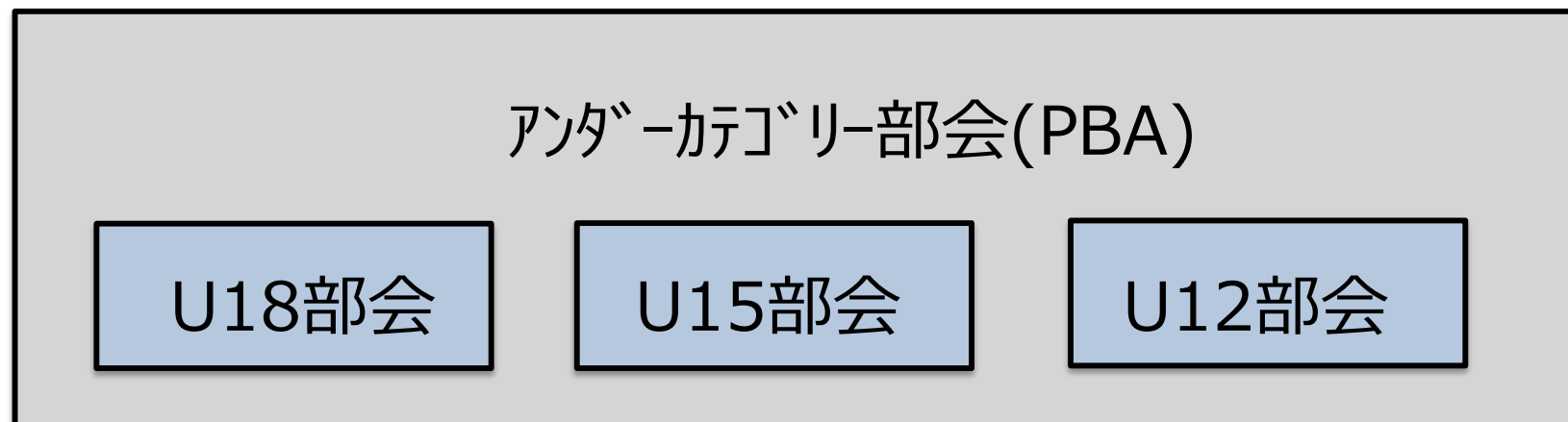


- ・ 2018年度以降、都道府県中体連は都道府県協会の協力団体とする。
- ・ 中体連との対応窓口はU15カテゴリー部会が担当する。
- ・ 中体連主催競技会事業の会計は、中体連で行う。
- ・ 協力関係とは
  - 中体連主催競技会に関する協力（主に競技運営面）
  - U15カテゴリー事業（リーグ戦・育成事業等）への協力依頼

### マンツーマン推進（都道府県マンツーマンディレクターの位置付け）

- ・ U15/U12カテゴリーの大会運営に関わる
- ・ アンダーカテゴリー部会内に位置づける
- ・ 大会運営実施の際にコミッショナー設置を担当する
- ・ 都道府県内マンツーマン推進を達成するために周知、コミッショナー育成の役割

### ■ 都道府県リーグのスタートへ向けて（JBAより）



- ① 各カテゴリーで**リーグ運営事務局**の設置、人的配置
- ② 各カテゴリーでバラバラの**地域区分を部会として統一**  
(アンダーカテゴリー部会の縦のつながりが今後必須)

2018まで・・・「東西南北さ：5地区」「11地区」

2019以降・・・「東西南北：4支部」「11ブロック（1ブロック30校程度）」

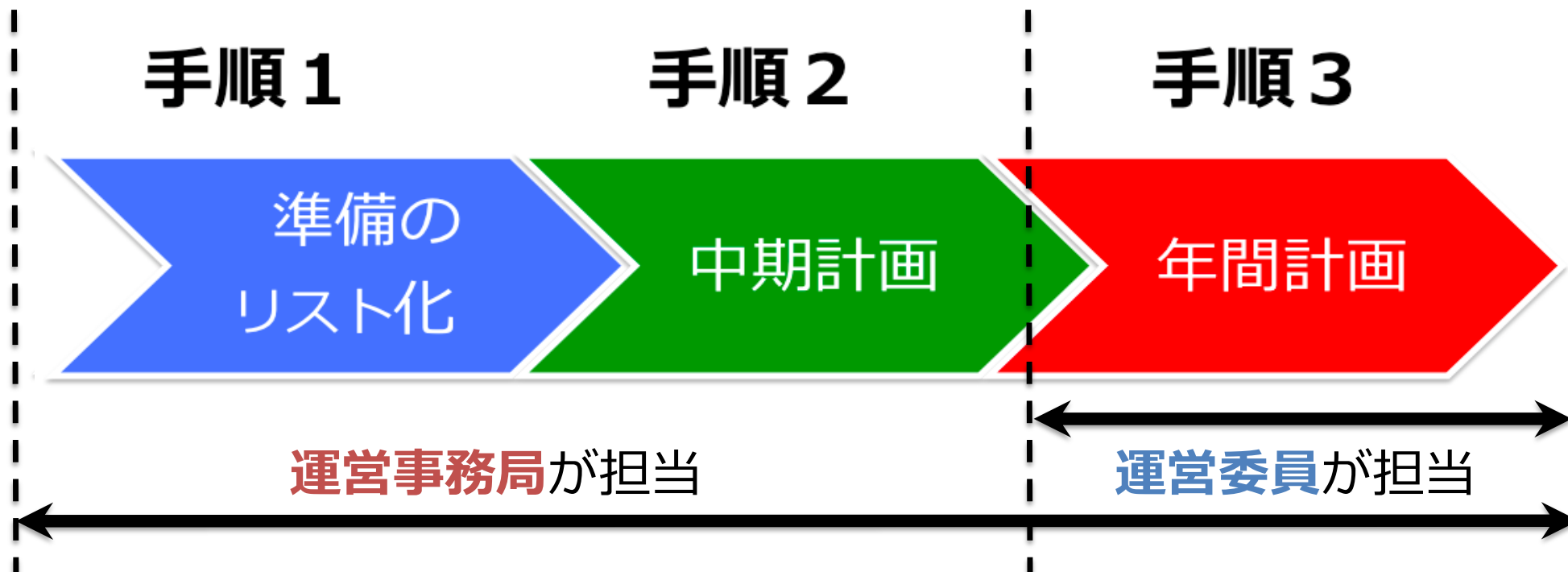
## <運営事務局役職の所管事項>

部会長・副部会長	全体統括、委員会招集と運営、全体スケジュール策定、カテゴリー別事業計画（開催要項）、交付金申請集約・精査渉外、（JBA/専務理事会/各種連盟/ブロック協会）、情報展開
競技担当	カテゴリー別競技規則策定、競技運営ルール、競技運営に関わる各カテゴリーとの連絡調整
審判担当	帯同審判制の策定（ニュートラル審判依頼制度の検討）、審判運営に関わる各カテゴリーとの連絡調整
財務担当	交付金申請の集約・精査、JBA申請手続き業務全般、県リーグ運営に関わる会計全般、競技運営部会計との連絡調整
運営担当	リーグ編成の策定、カテゴリー別リーグ戦の運勢主管（運営責任者の選定）、カテゴリー別事業計画（開催要項）、交付金申請書の作成/提出、スケジュール策定、会場策定、関係団体及びチームへの説明及び連絡調整
地区担当	カテゴリー別リーグ戦の運営主管、県および地区リーグの会場調整、地区内市町村協会との連絡調整、ブロック内審判員の確保

## 8 今現在、準備を進めていること

### ■ リーグスタートに向けた設置手順

リーグ運営事務局は、手順1～3でリーグ準備を進めます



**運営事務局** (7～8名)

➡ 県内リーグの運営統括

**運営委員** (2名×リーグ数)

➡ 各リーグの実際の運営・調整

※ 運営委員は必ず該当リーグ内から選出 (自分たちで運営するのが基本スタンス)

## 8 今現在、準備を進めていること

### ■ 手順 1 準備のリスト化

準備の  
リスト化

中期計画

年間計画

詳細作成ではなく全体把握のための項目確認

以下 3 項目のリスト化

#### 1 リーグ開幕前(準備段階)の必要項目

(スケジュール・グループ分け等)

#### 2 リーグ期間中に必要な作業項目

(試合結果・試合調整の連絡方法等)

#### 3 リーグ期間中のエラー発生時の解決手順

(問題発生時の手順・決定の流れ等)



## 8 今現在、準備を進めていること

### ■ 手順 1 準備のリスト化

準備の  
リスト化

中期計画

年間計画

## 1.リーグ開幕前(準備段階)の必要項目

- ① スケジュール
- ② **グループ分け**
- ③ 人的配置
- ④ レギュレーション
- ⑤ 運営費の整理
- ⑥ 運営機材の確認
- ⑦ 体育館確保
- ⑧ **全体への通達、共通理解、Q&Aの場・・・★★★★**
- ⑨ ホームページの設立
- ⑩ 審判調整
- ⑪ **要綱作成**
- ⑫ **部署ごとの運営マニュアル作成・・・★★★★**

## 8 今現在、準備を進めていること

### ■ 手順 1 準備のリスト化

準備の  
リスト化

中期計画

年間計画

## 2.リーグ 期間中に必要な作業項目

- ① 試合結果・試合調整の連絡方法
- ② 体育館調整（予備体育館の確保）
- ③ 他連盟審判員の管理
- ④ 役員の把握、旅費の支払い
- ⑤ ミッション
- ⑥ 勝ち上がり、優勝チームのHPへの掲載
- ⑦ 表彰（賞状、カップなど）
- ⑧ コーチ証ぶらさげ、レフェリーワッパンの確認
- ⑨ 初年度リーグの評価・ハ°レーション見直し
- ⑩ 日程の見直し・調整
- ⑪ 次年度参加チームの調整

## 8 今現在、準備を進めていること

### ■ 手順 1 準備のリスト化

準備の  
リスト化

中期計画

年間計画

## 3. リーグ 期間中エラー発生時の解決手順

- ① 問題発生時の報告手順
- ② 対処の流れ・・・・・・・・（S B A 規定との照らし合わせ）
  - I. 機材の故障
  - II. 突然の体育館使用不可
  - III. 帯同審判の不在
  - IV. コーチ証なし

## 8 今現在、準備を進めていること

### ■ 手順 2 中期計画

準備の  
リスト化

中期計画

年間計画

#### 準備年から完成年までの中期計画

準備年

(2017-2018)

スケジュール、人的配置、レギュレーション、  
参加チーム調整、グループ分け  
運営機材の確保、会場確保、審判調整、運営費の整理  
全体への通達、リーグ構造の共通理解、Q&Aの場  
要項作成、ホームページの設立

段階実施年

(2018-  
2019)

- 初年度リーグの評価
- ホームレギュレーション見直し
- 日程の見直し・調整
- 次年度参加チームの調整

実施年

(2019-  
2020)

- 2年目リーグの評価
- ホームレギュレーション見直し
- 日程の見直し・調整
- 次年度参加チーム調整

### リーグ戦の運営例

- リーグの予定の計画方法、1日のタイムスケジュール、役員の配置

### 各種リーグ戦実施要綱

- 競技規則、会場使用上の注意 など

### 審判マニュアル

- 人的配置に関すること、現行ルールの確認 など

### 競技マニュアル

- 施設の準備、機材の準備、TOマニュアル、スコアシート
- マンツーマンに関する事項 など

### 会計マニュアル

- 会計担当者の役割、主な会計業務、予算の立て方と会計報告の方法  
お金の流れ など

### 危機管理マニュアル

- 災害時の対応、熱中症の対応、事故やけがへの対応方法及び報告

### 保険

- 参加のためには加入が必須条件、保険の契約内容、加入までの手続き

### ★★★資料編★★★

- ・ エントリーに関する資料、リーグ戦計画表、役員一覧表、  
会計に関する資料、連絡先

終わりに、、、

- バasketボールが大好きな**子どもたちの未来を、**  
**想像よりも素晴らしいものにするために、**  
全国の皆様とひとつになって、  
**「Team JAPAN」**として  
埼玉県も全力を尽くして頑張ります。
- 今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。  
本日は、ありがとうございました。



一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会

U15カテゴリー一部会長 立花 正司